

令和2年4月吉日

看護職の皆様へ

コロナと戦う皆様に 感謝の気持ちを込めて

私たちは、県内の子どもと子育て家庭を守るために、今年度から地域において声かけ活動をしようと繋がった女性たちのチーム「長崎ひまわりプロジェクト」(延べ12万人)です。昨年度発足した「長崎ひまわりプロジェクト」には長崎県看護協会にもご参加いただいております、そのご縁から、看護職の皆様への仲間意識を強く感じているところでした。

今回、新型コロナウイルス感染症関連のニュースを見るにつけ、最前線の現場で、新型コロナウイルス感染症と戦いながら、人々の命を守ってくださっている皆様と祈る気持ちで送り出されているご家族のことを思うと、居ても立ってもいられずに、感謝の気持ちを届けたくて一筆致しました。

医療関係の皆様には感謝の気持ちを届けようと、世界中の方々の拍手や歌や鐘等が響き渡っています。日本では「上を向いて歩こう」の歌やさだまさしさんの激励の歌などがネット上で高まりつつあります。

長崎に住む私たちは、長崎の市民・県民の命を守ってくださる皆様のお姿に感謝の気持ちで注目しています。ニュースに写しだされる見える画像から、見えないご苦労や背景そしてお気持ちを必死に汲み取ろうと努めています。

お仕事上での恐怖を超えた使命感や責任感に対する感謝や激励の気持ちは勿論のことですが、子どもを残して仕事に出かけられるお気持ちはいかほどに後ろ髪をひかれ、迷いに襲われる日々ではないかと心中をお察しいたします。また、残念なことに、心無い言葉が皆様やご家族の方々にまで投げかけられたりすることがあるとお聞きすれば、本当に許しがたいことです。正しい認識と冷静な行動のためにも、私たち女性たちのネットワークにおいても、十分目配りと配慮をするよう呼びかけ、努めてまいります。

今後、私たちにできることは、「3密」を守り、外出を避け、少しでも医療現場を混乱させないよう自己管理に努めていくことだと思います。

専門性の高い皆様ではありますが、どうかくれぐれも、ご自愛のうえご無理をなさらぬようお願い申し上げます。

「長崎ひまわりプロジェクト」一同、一刻も早い終息と皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、感謝の気持ちをお届けいたします。

長崎ひまわりプロジェクト世話人一同

代表：長崎県地域婦人団体連絡協議会会長 西山 智子

連絡先：長崎ひまわりプロジェクト 事務局長 (長崎県更生保護女性連盟会長) 浦川 末子 長崎保護観察所 095-822-5175
--